

平成 20 事業年度

公立大学法人岩手県立大学の業務の実績に関する評価結果

平成 21 年 9 月

岩手県地方独立行政法人評価委員会

## 1 はじめに

本評価委員会においては、平成 18 年 5 月に策定した「公立大学法人岩手県立大学に係る各事業年度業務実績評価実施要領」に基づき、

- ① 平成 20 事業年度における中期計画の実施状況の調査
  - ② 当該事業年度における中期計画の実施状況の分析
  - ③ 業務の実績全体についての総合的な評定
- を内容とする評価を行った。(評価の具体的な方法は下記のとおり)

### 記

#### (1) 項目別評価

法人による自己評価の結果を基に、法人からのヒアリング等を通じて、年度計画に照らして進捗状況を確認し、自己評価の妥当性の検証と評価を行った。

なお、教育研究等の質の向上に関する項目については、教育研究の特性への配慮から、専門的な観点からの評価は行わず、取組の外形的・客観的な進捗状況の観点からの評価を行った。

また、評価委員会が認める「AA評価(特筆すべき進行状況にある)」については、

- ① 年度計画に掲げる取組を達成しつつ、更に中期計画に沿った取組が追加・実現され、かつ、
- ② 取組の結果、何らかの成果が明らかになっているものを対象とした。

(AA評価の例)

- ・年度計画において、「制度の創設」を当該年度の取組としていたものについて、実績において「制度を創設」したことに加え、「制度を運用」した場合
- ・積極的な県内企業訪問の結果、県内求人数が増加した場合 など

#### (2) 全体評価

「項目別評価」の結果及び中期計画の達成状況を踏まえ、下記により中期計画の全体的な進捗状況及び業務の実績全体について総合的な評価を行った。

## 2 全体評価

### (1) 総評

年度計画及び中期計画は「概ね計画どおり進んでいる」と認められる。

- 平成 20 事業年度においては、年度計画に掲げる取組 232 項目中、「A評価(計画どおり進んでいる)」以上の項目が 90.1% (209 項目) と、A評価が占める割合が平成 17 年度以降着実に上昇し、「B評価(概ね計画どおり進んでいる)」以上とすると 94.8% (220 項目) と、非常に高い割合を占めている。

	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度
A 評価以上	66.7%	75.9%	84.5%	90.1%
B 評価以上	82.8%	92.0%	96.5%	94.8%

- また、中期計画に掲げる取組全 249 項目中、平成 19 年事業年度までに「達成された」と認められるものが 28 項目であったが、平成 20 事業年度においては、55 項目追加され、合計 83 項目 (33.3%) 認められることは、平成 20 事業年度の中期計画の達成状況の進捗が大きかったと判断される。

- さらに、平成 19 事業年度に引き続き、「D評価(重大な改善事項がある)」と判断される項目がなかったことは、中期計画全体の実施状況に、重大な遅れがないと判断される。

- しかしながら、「中期計画に掲げる方策」のうち下記の方策については、依然として全体に比して若干の遅れが認められる。(別表 1 参照)

判断基準：平成 17～20 事業年度を通じて A 評価とされておらず、かつ C 又は D 評価とされた事業年度がある方策

- ・学生の修学目標を踏まえた修学指導方法充実に向けた取組
- ・卒業生や就職先からの意識調査による教育成果の検証
- ・地域における国際交流活動充実のための取組
- ・人件費管理や効果的かつ効率的な人的資源配分についての取組

- なお、大学院の定員充足の状況が一層悪化しており、「学生の志に火をつける」ような魅力ある教育研究を充実させると共に、定員確保に向けた

対応策について更なる努力を行うことが強く求められる。また、次期中期目標の検討において、現在の大学院のあり方についての議論を進める必要がある。

## (2) 各分野における平成 20 事業年度の取組

- 大学の教育研究、地域貢献等に関しては、
  - ① 「IPU地域づくりプラザ」の設置や、「IPUイノベーションセンター」開設に向けた取組等、地域と連携した取組を推進する体制をさらに整備し、地域貢献のための研究機能を充実させたこと
  - ② 看護学研究科において「がん看護専門看護師コース」を開設し、社会のニーズに応えた高度な専門教育を推進していること
  - ③ 文部科学省の「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に採択されている取組を推進し、地域の福祉人材の育成を行う等地域貢献度の高い取組を行っていること

など、県立大学としての特色ある取組や創意工夫、またそれによる効果が認められ、高く評価できる。

- 財務内容の改善に関しては、経験のある教員による科学研究費申請の指導等科学研究費獲得のための支援体制を充実させ、全国第 15 位の科学研究費採択率をあげたことは、高く評価できる。

## 3 項目別評価

- I 大学の教育・研究などの質の向上に関する目標を達成するためにとる措置  
⇒「概ね計画どおり」。特に「A評価（計画どおり進んでいる）」以上の項目が 90.7%を占めていることは、高く評価できる。
- II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとる措置  
⇒「概ね計画どおり」。特に「A評価」以上の項目が 93.8%を占め、昨年度の 61.9%から実施状況が大きく改善されたことに加え、「C評価（やや遅れている）」が認められないことは、非常に高く評価できる。
- III 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとる措置  
⇒「概ね計画どおり」。特に「A評価（計画どおり進んでいる）」以上の項目が 88.9%を占めていること、及び「C評価」が認められないことは、高く評価できる。
- IV 自己点検・評価・改善及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとる措置  
⇒「概ね計画どおり」。特に「A評価」以上の項目が 77.8%を占めていることは、高く評価できる。
- V 施設設備の整備、安全管理等の目標を達成するためにとる措置  
⇒「概ね計画どおり」。特に「A評価」以上の項目が 91.7%を占めていることは、高く評価できる。
- X 岩手県地方独立行政法人法施行細則で定める業務運営に関する事項  
⇒「概ね計画どおり」。ただし、「A評価」以上の項目の割合が 66.7%と低いことは、一層の取組が望まれる。

※VI～IXについては、平成 20 事業年度は年度計画の設定なし。

### (1) 項目別評価の状況及び「AA評価(特筆すべき進行状況にある)」の取組

別表 2 のとおり

### (2) 自己評価より評価が低くなった項目及びその理由

別表 3 のとおり。

(3) 改善が望まれる取組について

「C評価（やや遅れている）」が12項目と、昨年度と同程度取組の遅れが認められる項目があることから、なお一層の改善に向けた次年度以降の努力や計画の見直しを検討する必要がある。

【別表1】全体に比して若干の遅れが認められる方策

「中期計画に掲げる方策」のうち、下記の基準により判断したもの。

【基本的な判断基準】 平成17～20事業年度を通じてA評価とされた事業年度がなく、かつC又はD評価とされた事業年度がある方策

中期計画に掲げる方策	現状・課題	H20	H19	H18	H17
<b>I. 大学の教育・研究などの質の向上に関するもの</b>					
45 入学時に学生の修学目標等を調査し、その達成度、満足度について継続的に確認するなどの修学指導方法を充実します。	修学目標の設定については、学部ごとの違いがあり取組が進んでいない。平成20年度は実務者レベルでの検討を行った。指導方法については、平成21年10月のシステム改修までに学生の個々の詳細なデータをカルテ形式で管理する「学生カルテシステム」の導入等を検討する予定。	B	C	C	D
46 卒業生に対する意識調査を行うとともに就職先の企業、自治体、機関等から意見を聞き、教育の成果・効果を明らかにします。	過去のアンケートの結果の情報共有に留まり、分析等にまで踏み込んでいない状況。平成21年度は結果の分析を行い、それを共有し教育に活用する予定。	C	C	B	D
185 本学の実践的教育研究活動としての国際交流を、地域における国際交流活動に生かします。	国際交流支援センターの設置は行わなかったが、平成21年度から国際交流窓口を一本化することとし、対応を明確にした。国際交流を行う体制については、次期中期計画の検討と併せて行う予定。	C	C	B	C
<b>II. 業務運営の改善及び効率化に関するもの</b>					
206 中長期的な観点に立って定数管理等の計画を策定し、専門性の高い人材の確保・養成や人員（人件費）の適切な管理、効果的かつ効率的な人的資源配分等を推進します。	教育内容と連動する教員体制についての検討が必要であり、議論が難しくなっている。平成20年度は作業部会を設置し検討。平成21年度はさらに議論を進め、定数管理計画を策定する予定。	B	C	D	B

**【別表2】項目別評価の状況及び「AA評価（特筆すべき進行状況にある）」の取組**

評価の判断基準

法人の実績報告において「特記事項」として報告されているもののうち、下記と認められるもの

- ①年度計画に掲げる取組を達成しつつ、更に中期計画に沿った取組が付加・実現されているもの
- ②取組の結果、何らかの成果が明らかになっているもの

区分	評価結果				AA評価項目	摘要 (主な運営データ等)										
	区分	法人	委員会	割合%		O入試の状況										
I 大学の教育・研究などの質の向上に関する目標を達成するためにとる措置 <b>「概ね計画どおり」と判断される</b>  ※AA~B 評価割合 97.4%	AA		13	7.1	<b>◎全学的な取組み</b> <b>① 学生緊急貸付制度の導入【No.142】</b> 経済的理由で卒業が困難な学生を対象とした緊急貸付制度を導入しました。また、金融機関との提携教育ローンを創設し、経済的に困難な学生の支援向上に努めました。 <b>② 地域貢献を目指した研究機能の充実【No.147】</b> 「戦略的地域再生研究機構（プロジェクト研究所）」の1つである「地域づくり研究所」の内部組織として、「盛岡市まちづくり研究所」と「公共政策研究所」を新たに設置するとともに、大学と自治体、地域づくり団体等との交流の場である「IPU地域づくりプラザ」を設置しました。特に「盛岡市まちづくり研究所」では盛岡市から派遣された共同研究員2名が、研究成果を地域に還元すべく、市の将来計画策定のための基礎調査や地域づくりの実証的な調査等を実施しています。また、地域課題研究は1件、公募型地域課題研究は16件、地域貢献調査活動研究は5件、それぞれ平成20年度に新規採択しました。 <b>③ 研究倫理向上への取組【No.181】</b> 研究倫理審査開始に向けた対象研究や運用ルール等を検討するため各学部の委員からなる作業部会を設置し、対象研究や対象動物などの内容を検討し、研究倫理審査規程を改正するとともに研究倫理審査実施要領を定め、平成21年1月から研究倫理審査の申請を受け付けることとしました。研究活動上の不正行為防止のため、研究費使用のルール等を解説した研究費マニュアルを作成するとともに学内HPで公開しました。研究費の使用実態等に関する学内アンケートを実施し、これらをもとに不正行為防止計画を策定しました。 <b>④ 地域連携の推進【186】</b> 外部資金獲得、技術移転、事業化支援、地域づくり支援などを推進するため、外部の専門家を5名連携支援アドバイザーに委嘱するとともに、今年度からリエゾン（※1）担当教員を週30時間の非常勤職員から週40時間の任期付教員に任命替えし、体制を強化し、積極的に学内外の研究連携を図りました。自治体等の6団体と連携協定を締結しており、協定に基き共同研究や研究成果の自治体施策への適用を進めるとともに、協定団体と定期的に連絡会議を開催しました。平成21年オープン予定の滝沢村IPUイノベーションセンターへのIT企業誘致活動として、本学担当教員による企業訪問活動等を行い、誘致につなげました。なお、滝沢村による公募に対し、5企業から7室分の入居申請があり、審査の結果、申請どおり入居企業が決定しました。 ※1 リエゾン：組織間の連絡調整等  <b>◎各学部等における特色ある取組</b> <b>【看護学部、研究科】</b> <b>⑤ 卒業研究を充実させる取組【No.14】</b> 教員個々の指導のみならず看護研究法での講義や卒業研究オリエンテーションにおいても研究活動や学外へ成果を公表することの意義と責務を強調し説明しました。その結果、卒業研究の成果を学内では学生全員が発表し、さらに卒業後には5名の学生が岩手看護学会や看護関連学会で発表を行うことができました。昨年までの発表件数が0~1件であった状況と比べると大きな成果といえます。このように研究推進能力を育成するための卒業研究の充実を図っていることから、中期計画は達成することができました。	O入試の状況										
	A	168	153	83.6		盛岡短期大学部 入学者数 457 450 志願者数 1,530 2,593 志願倍率 3.5 5.9 受験者数 1,265 1,825 実質倍率 2.6 3.9 盛岡短期大学部 入学者数 71 61 志願者数 86 86 志願倍率 0.5 0.8 受験者数 83 84 実質倍率 1.1 1.2 盛岡短期大学部 入学者数 105 105 志願者数 278 339 志願倍率 2.8 3.4 受験者数 233 299 実質倍率 1.6 2.0 宮古短期大学部 入学者数 106 107 志願者数 154 173 志願倍率 1.5 1.7 受験者数 143 165 実質倍率 1.1 1.3 (H20.5.1 運営データ、人・%)	O「本学が第一希望」の割合									
	B	8	8	4.4			区分 H19 H20 第一希望 81.7 81.6 第二希望 10.7 10.4 第三希望以下 7.1 8.0 盛岡短期 第一希望 72.0 58.8 第二希望 21.0 30.4 第三希望以下 6.0 10.8 宮古短期 第一希望 74.4 69.5 第二希望 20.4 18.6 第三希望以下 5.1 11.9 (新入生アンケート、%)	区分 H19 H20								
	C	7	9	4.9				区分 H19 H20 第一希望 81.7 81.6 第二希望 10.7 10.4 第三希望以下 7.1 8.0 盛岡短期 第一希望 72.0 58.8 第二希望 21.0 30.4 第三希望以下 6.0 10.8 宮古短期 第一希望 74.4 69.5 第二希望 20.4 18.6 第三希望以下 5.1 11.9 (新入生アンケート、%)	区分 H19 H20							
	D	0	0	0.0					区分 H19 H20 第一希望 81.7 81.6 第二希望 10.7 10.4 第三希望以下 7.1 8.0 盛岡短期 第一希望 72.0 58.8 第二希望 21.0 30.4 第三希望以下 6.0 10.8 宮古短期 第一希望 74.4 69.5 第二希望 20.4 18.6 第三希望以下 5.1 11.9 (新入生アンケート、%)	区分 H19 H20						
	計	183	183	100.0						区分 H19 H20 第一希望 81.7 81.6 第二希望 10.7 10.4 第三希望以下 7.1 8.0 盛岡短期 第一希望 72.0 58.8 第二希望 21.0 30.4 第三希望以下 6.0 10.8 宮古短期 第一希望 74.4 69.5 第二希望 20.4 18.6 第三希望以下 5.1 11.9 (新入生アンケート、%)	区分 H19 H20					
	※凡例										区分 H19 H20 第一希望 81.7 81.6 第二希望 10.7 10.4 第三希望以下 7.1 8.0 盛岡短期 第一希望 72.0 58.8 第二希望 21.0 30.4 第三希望以下 6.0 10.8 宮古短期 第一希望 74.4 69.5 第二希望 20.4 18.6 第三希望以下 5.1 11.9 (新入生アンケート、%)	区分 H19 H20				
	AA：特筆すべき進行状況にある											区分 H19 H20 第一希望 81.7 81.6 第二希望 10.7 10.4 第三希望以下 7.1 8.0 盛岡短期 第一希望 72.0 58.8 第二希望 21.0 30.4 第三希望以下 6.0 10.8 宮古短期 第一希望 74.4 69.5 第二希望 20.4 18.6 第三希望以下 5.1 11.9 (新入生アンケート、%)	区分 H19 H20			
	A：計画どおり進んでいる。												区分 H19 H20 第一希望 81.7 81.6 第二希望 10.7 10.4 第三希望以下 7.1 8.0 盛岡短期 第一希望 72.0 58.8 第二希望 21.0 30.4 第三希望以下 6.0 10.8 宮古短期 第一希望 74.4 69.5 第二希望 20.4 18.6 第三希望以下 5.1 11.9 (新入生アンケート、%)	区分 H19 H20		
	B：おおむね計画どおり進んでいる。													区分 H19 H20 第一希望 81.7 81.6 第二希望 10.7 10.4 第三希望以下 7.1 8.0 盛岡短期 第一希望 72.0 58.8 第二希望 21.0 30.4 第三希望以下 6.0 10.8 宮古短期 第一希望 74.4 69.5 第二希望 20.4 18.6 第三希望以下 5.1 11.9 (新入生アンケート、%)	区分 H19 H20	
C：やや遅れている。				区分 H19 H20 第一希望 81.7 81.6 第二希望 10.7 10.4 第三希望以下 7.1 8.0 盛岡短期 第一希望 72.0 58.8 第二希望 21.0 30.4 第三希望以下 6.0 10.8 宮古短期 第一希望 74.4 69.5 第二希望 20.4 18.6 第三希望以下 5.1 11.9 (新入生アンケート、%)	区分 H19 H20											
D：重大な改善事項がある。					区分 H19 H20 第一希望 81.7 81.6 第二希望 10.7 10.4 第三希望以下 7.1 8.0 盛岡短期 第一希望 72.0 58.8 第二希望 21.0 30.4 第三希望以下 6.0 10.8 宮古短期 第一希望 74.4 69.5 第二希望 20.4 18.6 第三希望以下 5.1 11.9 (新入生アンケート、%)	区分 H19 H20										
【参考】19事業年度						区分 H19 H20 第一希望 81.7 81.6 第二希望 10.7 10.4 第三希望以下 7.1 8.0 盛岡短期 第一希望 72.0 58.8 第二希望 21.0 30.4 第三希望以下 6.0 10.8 宮古短期 第一希望 74.4 69.5 第二希望 20.4 18.6 第三希望以下 5.1 11.9 (新入生アンケート、%)	区分 H19 H20									
区分	法人	委員会	割合%				区分 H19 H20 第一希望 81.7 81.6 第二希望 10.7 10.4 第三希望以下 7.1 8.0 盛岡短期 第一希望 72.0 58.8 第二希望 21.0 30.4 第三希望以下 6.0 10.8 宮古短期 第一希望 74.4 69.5 第二希望 20.4 18.6 第三希望以下 5.1 11.9 (新入生アンケート、%)	区分 H19 H20								
AA		17	7.3					区分 H19 H20 第一希望 81.7 81.6 第二希望 10.7 10.4 第三希望以下 7.1 8.0 盛岡短期 第一希望 72.0 58.8 第二希望 21.0 30.4 第三希望以下 6.0 10.8 宮古短期 第一希望 74.4 69.5 第二希望 20.4 18.6 第三希望以下 5.1 11.9 (新入生アンケート、%)	区分 H19 H20							
A	205	186	79.8						区分 H19 H20 第一希望 81.7 81.6 第二希望 10.7 10.4 第三希望以下 7.1 8.0 盛岡短期 第一希望 72.0 58.8 第二希望 21.0 30.4 第三希望以下 6.0 10.8 宮古短期 第一希望 74.4 69.5 第二希望 20.4 18.6 第三希望以下 5.1 11.9 (新入生アンケート、%)	区分 H19 H20						
B	24	24	10.3							区分 H19 H20 第一希望 81.7 81.6 第二希望 10.7 10.4 第三希望以下 7.1 8.0 盛岡短期 第一希望 72.0 58.8 第二希望 21.0 30.4 第三希望以下 6.0 10.8 宮古短期 第一希望 74.4 69.5 第二希望 20.4 18.6 第三希望以下 5.1 11.9 (新入生アンケート、%)	区分 H19 H20					
C	4	6	2.6								区分 H19 H20 第一希望 81.7 81.6 第二希望 10.7 10.4 第三希望以下 7.1 8.0 盛岡短期 第一希望 72.0 58.8 第二希望 21.0 30.4 第三希望以下 6.0 10.8 宮古短期 第一希望 74.4 69.5 第二希望 20.4 18.6 第三希望以下 5.1 11.9 (新入生アンケート、%)	区分 H19 H20				
D	0	0	0.0									区分 H19 H20 第一希望 81.7 81.6 第二希望 10.7 10.4 第三希望以下 7.1 8.0 盛岡短期 第一希望 72.0 58.8 第二希望 21.0 30.4 第三希望以下 6.0 10.8 宮古短期 第一希望 74.4 69.5 第二希望 20.4 18.6 第三希望以下 5.1 11.9 (新入生アンケート、%)	区分 H19 H20			
計	233	233	100.0										区分 H19 H20 第一希望 81.7 81.6 第二希望 10.7 10.4 第三希望以下 7.1 8.0 盛岡短期 第一希望 72.0 58.8 第二希望 21.0 30.4 第三希望以下 6.0 10.8 宮古短期 第一希望 74.4 69.5 第二希望 20.4 18.6 第三希望以下 5.1 11.9 (新入生アンケート、%)	区分 H19 H20		

区分	評価結果			AA評価項目	摘要 (主な運営データ等)																																																																																																																																										
	区分	法人	委員会		割合%	区分		H19	H20																																																																																																																																						
					<p>⑥ <b>がん看護専門看護師コースの開設【No.87】</b>            次年度に「がん看護専門看護師養成コース」として日本看護系大学協議会の認定を受けるための準備段階として、がん看護専門看護師のコースを開設し、その1年目の運営を行いました。コース開設にあたり、岩手医科大学のがん専門医や実践現場で活躍する3名の専門看護師等との協働での教育展開を行うことで、次年度以降の実習教育の領域として協力を受けることが可能になるとともに、より高度な看護専門能力の育成につながりました。</p> <p>【社会福祉学部、研究科】</p> <p>⑦ <b>入試制度の見直し【No.58】</b>            入試制度の見直しに向けて各方面からの情報収集を行い検討を行いました。その結果、専門高校・総合学科特別選抜の見直しを行うとともに、リカレント教育(※2)の裾野を広げることなどを目的とした、社会人編入の入試区分を新設するなどの入試制度改革を行い、平成22年度以降に反映させることとしました。            ※2 リカレント教育：社会人が職業上のあらたな知識・技術を習得するために、また、日常生活において教養や人間性を高めるために必要とする高度で専門的な教育を、生涯にわたり繰り返し、学習すること。</p> <p>⑧ <b>高齢者安否確認システム等の地域の福祉課題への対応【No.173】</b>            宮古地区については、宮古市及び宮古市社会福祉協議会と連携して一般中高年者、自治会長を対象とする地域福祉推進に向けた意識調査を実施し、報告書を作成しました。岩手県社会福祉協議会との協働で川井村で進めてきた高齢者の能動的安否確認システムに関する研究は、「高齢者の予防型見守り安否確認システムモデル事業」として、盛岡市、久慈市、二戸市のほか青森県十和田市も参加することになり、対象が拡大してきています。</p> <p>⑨ <b>地域社会の福祉人材のスキルアップ支援【No.184】</b>            文部科学省の「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」として採択されている本学の「コミュニティカウンセラー教育・研修プログラム」を平成20年4月から本格実施しました。地域で相談業務を担っている福祉人材向けに基礎コースと応用コースを設け、本学で開講している科目を受講できるようにしているほか、遠隔地からも参加できるようアイーナキャンパスを利用して土曜日も開講しています。            平成20年度は、基礎コース5名、応用コース9名の修了生を送り出すことができました。また、受講生のピアヘルパー試験においても、100%の合格率でした。</p> <p>【ソフトウェア情報学部、研究科】</p> <p>⑩ <b>地域社会のニーズと学部のシーズの交流【No.174】</b>            今年度の第4回いわて情報産業シンポジウムは、岩手県の情報サービス産業のほかに県内メーカー等も参加いただくことで(計20社)、より活性化した形で開催できました。(参加者一今年度：140名、昨年度：100名)            また、首都圏の大手企業26社が参加した「首都圏企業就職フォーラム」、及び主に仙台の企業15社が参加した「仙台企業就職フォーラム」を通じて、参加企業と活発な意見交換を行いました。両フォーラムは参加学生から高い満足度を得ました。(企業フォーラムの満足度-「首都圏」：99%、「仙台」：91%)            なお、これらの取組により地域のニーズと学部のシーズの実践的交流を図ることができました。</p>	<p>○学生定員充足状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">H19</th> <th colspan="2">H20</th> </tr> <tr> <th>定員</th> <th>在籍数</th> <th>充足率</th> <th>充足率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">県立大学</td> <td>学部</td> <td>1,840</td> <td>1,840</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,955</td> <td>106.3</td> <td>106.1</td> </tr> <tr> <td>大学院</td> <td>234</td> <td>239</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">盛岡短期大学部</td> <td>定員</td> <td>186</td> <td>172</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>186</td> <td>79.5</td> <td>72.0</td> </tr> <tr> <td>大学院</td> <td>200</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">宮古短期大学部</td> <td>定員</td> <td>200</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>231</td> <td>115.5</td> <td>115.5</td> </tr> <tr> <td>充足率</td> <td>115.5</td> <td>115.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(H20.5.1 運営データ、人・%)</p> <p>○就職の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">H19</th> <th colspan="2">H20</th> </tr> <tr> <th>就職者数</th> <th>割合</th> <th>就職者数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">県立大学</td> <td>県内就職者数</td> <td>121</td> <td>141</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>32.6</td> <td>40.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県外就職者数</td> <td>250</td> <td>208</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>67.4</td> <td>59.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">盛岡短期大部</td> <td>計(就職者数)</td> <td>371</td> <td>349</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>96.9</td> <td>96.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県内就職者数</td> <td>48</td> <td>36</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>73.8</td> <td>61.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">宮古短期大部</td> <td>県外就職者数</td> <td>17</td> <td>23</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>26.2</td> <td>39.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計(就職者数)</td> <td>65</td> <td>59</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>94.2</td> <td>92.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">宮古短期大部</td> <td>県内就職者数</td> <td>56</td> <td>44</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>70.0</td> <td>65.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県外就職者数</td> <td>30</td> <td>23</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>30.0</td> <td>34.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">宮古短期大部</td> <td>計(就職者数)</td> <td>86</td> <td>67</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>95.6</td> <td>90.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(各年度3月末現在運営データ、人・%)</p>				区分	H19		H20		定員	在籍数	充足率	充足率	県立大学	学部	1,840	1,840			1,955	106.3	106.1	大学院	234	239		盛岡短期大学部	定員	186	172			186	79.5	72.0	大学院	200	200		宮古短期大学部	定員	200	200			231	115.5	115.5	充足率	115.5	115.5		区分	H19		H20		就職者数	割合	就職者数	割合	県立大学	県内就職者数	121	141			32.6	40.4		県外就職者数	250	208			67.4	59.6		盛岡短期大部	計(就職者数)	371	349			96.9	96.9		県内就職者数	48	36			73.8	61.0		宮古短期大部	県外就職者数	17	23			26.2	39.0		計(就職者数)	65	59			94.2	92.2		宮古短期大部	県内就職者数	56	44			70.0	65.7		県外就職者数	30	23			30.0	34.3		宮古短期大部	計(就職者数)	86	67			95.6	90.5	
区分	H19		H20																																																																																																																																												
	定員	在籍数	充足率	充足率																																																																																																																																											
県立大学	学部	1,840	1,840																																																																																																																																												
		1,955	106.3	106.1																																																																																																																																											
	大学院	234	239																																																																																																																																												
盛岡短期大学部	定員	186	172																																																																																																																																												
		186	79.5	72.0																																																																																																																																											
	大学院	200	200																																																																																																																																												
宮古短期大学部	定員	200	200																																																																																																																																												
		231	115.5	115.5																																																																																																																																											
	充足率	115.5	115.5																																																																																																																																												
区分	H19		H20																																																																																																																																												
	就職者数	割合	就職者数	割合																																																																																																																																											
県立大学	県内就職者数	121	141																																																																																																																																												
		32.6	40.4																																																																																																																																												
	県外就職者数	250	208																																																																																																																																												
		67.4	59.6																																																																																																																																												
盛岡短期大部	計(就職者数)	371	349																																																																																																																																												
		96.9	96.9																																																																																																																																												
	県内就職者数	48	36																																																																																																																																												
		73.8	61.0																																																																																																																																												
宮古短期大部	県外就職者数	17	23																																																																																																																																												
		26.2	39.0																																																																																																																																												
	計(就職者数)	65	59																																																																																																																																												
		94.2	92.2																																																																																																																																												
宮古短期大部	県内就職者数	56	44																																																																																																																																												
		70.0	65.7																																																																																																																																												
	県外就職者数	30	23																																																																																																																																												
		30.0	34.3																																																																																																																																												
宮古短期大部	計(就職者数)	86	67																																																																																																																																												
		95.6	90.5																																																																																																																																												

区 分	評価結果			A A 評価項目	摘 要 (主な運営データ等)																																												
	区分	法人	委員会		割合%	区分	H19	H20																																									
					<p><b>【総合政策学部、研究科】</b></p> <p>⑪ <b>キャリア教育(※3)を充実する取組【No.86】</b>            キャリア教育において、地元の企業家等を講師とした講義でその実体験を直接聴くことは、実学実践を実感できることに加え、地元企業への関心を高める効果も伴うことが学生のレポート等により確認できました。このことから、平成21年度から「地場産業・企業研究」は自由聴講科目から、選択科目に移行させて卒業単位に反映させることとしました。            ※3 キャリア教育：現在や将来の自分を働くこと等に関係付けながら行われる教育</p> <p><b>【盛岡短期大学部】</b></p> <p>⑫ <b>少人数教育の更なる推進【No.9,10】</b>            生活科学科「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」の授業では、平成19年度に引き続き専攻別のクラス編成としました。生活科学専攻では、日本語にはない英語特有の表現を理解させるとともに、食物栄養学専攻では、語学学習室を活用してリスニング力の向上に努めて、実践的な英語を身につけられる授業内容としました。国際文化学科「日本語表現Ⅰ」では、少人数クラスを行うとともに同一教科書を採用することで学生の反応を把握しやすくなり、展開、進度などを教員間で話し合いながら授業展開できるようになりました。また課題提示の回数を増やすことができたほか、新聞投稿プログラムに対する添削などの対応が充実しました。            また、「英語表現B」「国際文化理解演習(米国研修)」においては、リーディングマラソン及びリスニングマラソンを補助授業として位置づけて、英語を英語として読み、聞く訓練を課した上で、その内容について教員が英語で質問することによって、学生の英語運用能力を高める手法を検討しました。            この補助授業(週2回実施)には、毎回平均10名程度の学生が参加し、TA(※4)が担当教員に学生の進捗状況を伝えるとともに、教材の選択について協議することによって、学生の英語に対する関心を喚起しました。その結果、TOEIC-BRIDGEテストにおいて、前年度に比較して約40%の学生の成績が10点以上アップしました。            「情報科学概論」「情報処理演習」については、パワーポイント等を活用した卒業研究発表会を通してTAの配置による学習効果を確認しました。            なお、少人数クラスでの情報リテラシー(※5)教育と語学教育については、より少人数のクラス編成やTA等を配置した授業改善の取り組み等、必要な改善をしながら一層の推進を行ってきたことから、中期計画を達成しました。            ※4 TA：Teaching Assistant の略。大学院生が学部生の実験、演習等の教育補助業務を行うもの。            ※5 情報リテラシー：情報や情報手段を自ら選択して活用していくための個人の基礎的な力</p> <p><b>【宮古短期大学部】</b></p> <p>⑬ <b>アドミッションポリシー(※6)の明確化と入試制度の変更【No.67】</b>            アドミッションポリシーを策定し、キャンパス見学会や高校訪問などの際に、その周知を図りました。            加えて、推薦入試について、各高等学校からの「推薦枠制度」の改革(「推薦4名・特別推薦2名の計6名」から「推薦・特別推薦の両方を併せて6名」への変更)も行い、向学心のある学生の選抜に取り組みました。            ※6 アドミッションポリシー：入学者受け入れ方針</p>	<p><b>○産学官連携の状況</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H19</th> <th>H20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同研究数</td> <td>52</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>受託研究数</td> <td>19</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>71</td> <td>89</td> </tr> </tbody> </table> <p>(運営データ、件)</p> <p><b>○地域貢献の状況</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>H19</th> <th>H20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">公開講座</td> <td>開講講座数</td> <td>60</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>3,661</td> <td>3,409</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">施設の学外利用者</td> <td>図書館</td> <td>10,105</td> <td>7,709</td> </tr> <tr> <td>体育施設等</td> <td>24,774</td> <td>31,382</td> </tr> <tr> <td>アイーナキャンパス</td> <td>11,855</td> <td>16,977</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">審議会委員等への 就任、講師派遣数</td> <td></td> <td>712</td> <td>994</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">うち 行政機関</td> <td>332</td> <td>563</td> </tr> <tr> <td>非常勤講師</td> <td>129</td> <td>133</td> </tr> </tbody> </table> <p>(運営データ、講座・人)</p>	区分	H19	H20	共同研究数	52	66	受託研究数	19	23	合計	71	89	区分		H19	H20	公開講座	開講講座数	60	51	受講者数	3,661	3,409	施設の学外利用者	図書館	10,105	7,709	体育施設等	24,774	31,382	アイーナキャンパス	11,855	16,977	審議会委員等への 就任、講師派遣数		712	994	うち 行政機関	332	563	非常勤講師	129	133
区分	H19	H20																																															
共同研究数	52	66																																															
受託研究数	19	23																																															
合計	71	89																																															
区分		H19	H20																																														
公開講座	開講講座数	60	51																																														
	受講者数	3,661	3,409																																														
施設の学外利用者	図書館	10,105	7,709																																														
	体育施設等	24,774	31,382																																														
	アイーナキャンパス	11,855	16,977																																														
審議会委員等への 就任、講師派遣数		712	994																																														
	うち 行政機関	332	563																																														
非常勤講師		129	133																																														

区分	評価結果				A A 評価項目	摘要 (主な運営データ等)																					
	区分	法人	委員会	割合%																							
<b>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとる措置</b> 「概ね計画どおり」と判断される ※AA~B 評価割合 100.0%	AA		0	0.0																							
	A	15	15	93.8																							
	B	1	1	93.8																							
	C	0	0	0.0																							
	D	0	0	0.0																							
	計	16	16	100.0																							
	【参考】19 事業年度																										
	AA		1	4.8																							
	A	14	13	61.9																							
	B	5	4	19.0																							
	C	2	3	14.3																							
	D	0	0	0.0																							
	計	21	21	100.0																							
	<b>III 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとる措置</b> 「概ね計画どおり」と判断される ※AA~B 評価割合 100.0%	AA		1			11.1	<b>⑭ 競争的外部資金獲得への取組【No.212】</b> 科学研究費補助金をはじめ、各種の競争的外部資金についての学内説明会を開催するとともに、助成情報を学内ホームページ及びグループウェアに掲載し、周知を図りました。 科研費については、獲得経験豊富な教員による申請書作成説明会を開催するとともに、学部ごとに科研費獲得経験者を指導者とする申請書類の質をより高める取組を行いました。これらの取組の結果、平成20年度科研費の採択率は全国第15位の31.2%（四大）となりました	<b>○外部研究資金の獲得状況</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>H19</th> <th>H20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">外部研究資金受入</td> <td>件数</td> <td>127</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>165,929</td> <td>143,141</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">うち 科研費</td> <td>件数</td> <td>39</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>57,700</td> <td>79,644</td> </tr> </tbody> </table> (運営データ、件・千円)	区分		H19	H20	外部研究資金受入	件数	127	116	金額	165,929	143,141	うち 科研費	件数	39	65	金額	57,700	79,644
		区分		H19			H20																				
外部研究資金受入		件数	127	116																							
		金額	165,929	143,141																							
うち 科研費		件数	39	65																							
		金額	57,700	79,644																							
A		8	7	77.8																							
B		1	1	11.1																							
C		0	0	0.0																							
D		0	0	0.0																							
計		9	9	100.0																							
【参考】19 事業年度																											
AA			0	0.0																							
A		8	8	80.0																							
B		1	1	10.0																							
C	1	1	10.0																								
D	0	0	0.0																								
計	10	10	100.0																								
<b>IV 自己点検・評価・改善及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとる措置</b> 「概ね計画どおり」と判断される ※AA~B 評価割合 88.9%	AA		1	11.1	<b>⑮ 認証評価における適合認定【No.222】</b> 平成21年3月に(財)大学基準協会による認証評価の結果、岩手県立大学、盛岡短期大学部、宮古短期大学部ともに、同協会の大学基準に適合していると認定されました。 また、評価において改善を指摘された事項については速やかに対応を検討し、学則変更や平成21年度計画への反映など、評価結果を改善の取組に反映しました。																						
	A	7	6	66.7																							
	B	1	1	11.1																							
	C	1	1	8.3																							
	D	0	0	0.0																							
	計	9	9	100.0																							
	【参考】19 事業年度																										
	AA		0	0.0																							
	A	9	9	81.8																							
	B	2	2	18.2																							
	C	0	0	0.0																							
	D	0	0	0.0																							
	計	11	11	100.0																							



区 分	評価結果				A A 評価項目	摘 要 (主な運営データ等)
	区分	法人	委員会	割合%		
<b>V 施設設備の整備、安全管理等の目標を達成するためにとる措置</b> 「概ね計画どおり」と判断される ※AA~B 評価割合 91.7%	AA		0	0.0		
	A	11	11	91.7		
	B	0	0	0.0		
	C	1	1	8.3		
	D	0	0	0.0		
	計	12	12	100.		
	【参考】19事業年度					
	AA		1	7.7		
	A	12	11	84.6		
	B	1	1	7.7		
	C	0	0	0.0		
	D	0	0	0.0		
	計	13	13	100.0		
	<b>VI 予算、収支計画及び資金計画VII 短期借入金の限度額</b> <b>VII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</b> <b>IX 剰余金の使途</b> <b>X 岩手県地方独立行政法人法施行細則で定める業務運営に関する事項</b> 「概ね計画どおり」と判断される ※AA~B 評価割合 66.7%	AA		0		
A		1	2	66.7		
B		1	0	0.0		
C		1	1	33.3		
D		0	0	0.0		
計		3	3	100.0		
【参考】19事業年度						
AA			0	0.0		
A		0	0	0.0		
B		1	1	50.0		
C		1	0	50.0		
D		0	0	0.0		
計		2	2	100.0		
合 計		AA		15	6.5	
	A	210	194	83.6		
	B	12	11	4.7		
	C	10	12	5.2		
	D	0	0	0.0		
	計	232	232	100.0		
	【参考】19事業年度					
	AA		19	6.6		
	A	247	226	77.9		
	B	35	34	11.7		
	C	8	11	3.8		
	D	0	0	0.0		
	計	290	290			

【別表3】自己評価より評価が低くなった項目及びその理由

【評価基準】  
 A:計画どおりに進んでいる。(計画達成)  
 B:おおむね計画どおりに進んでいる。(8割以上～10割未満)  
 C:やや遅れている。(6割以上～8割未満)  
 D:重大な改善事項がある。(6割未満)

中期計画	平成20事業年度評価結果				
	年度計画	計画の進行状況等	自己評価	評価委員会評価	変更理由
○入試区分に対応した学生の学修状況を調査・分析し、入試区分、入試期日、試験会場等入試制度全般について継続的に見直しを行います。	入試区分に対応した個人の学修状況（1年次～4年次）の調査・分析結果をデータ化し、入試区分や入試制度の改善に反映させます。	平成21年3月卒業の学生の学修状況（1年次～4年次）を対象に、入試区分ごとに、成績評価システム（GPA）による調査・分析を行い、平成19年3月卒業生のものとの比較を行い、学部ごと及び時系列的な傾向等を把握しました。今後、入試区分や入試制度の改善に反映させます。	B	C	今年度の取組内容が調査分析に留まり、具体的な制度の改善に反映させられなかったことは、「おおむね計画どおり進んでいる」（B：8割以上～10割未満）とは認められないため。（C：「やや遅れている」（6割以上～8割未満））
大学院については、高度な専門性の修得に対する強い意欲と研究的視点を持った人材の確保を目指し、社会人選抜等にも配慮しながら、多様な入試制度を実施します。	大学院の定員確保について全学的に議論する場を設けるとともに、試験の実施時期の見直しや休日の試験実施など、社会人も受験しやすい環境を整えます。	定員確保について、副学長、各研究科長からなる検討会議で議論しました。 また、全ての試験を土日に実施することで、社会人も受験しやすい環境を整えるとともに、志願者確保のため、看護学研究科の1次試験の時期を早めましたが、必ずしも定員確保に結びついていないことから更に有効な方策を考える必要があります。	B	C	検討組織による検討を行ったが、課題の明確化等に留まり、一部を除き具体的な対応策に着手できないでいることは、「おおむね計画どおり進んでいる」（B：8割以上～10割未満）とは認められないため。（C：「やや遅れている」（6割以上～8割未満））
○高度専門教育と人間教育を同時に達成するため「1年次からの講座配属制度」を今後も堅持します。さらに学生間とりわけ学年を縦断する交流促進策（学生ヘルプデスク、合宿ゼミ、3年後期の卒研見習い等）を行います。	在学生、卒業生および卒業生が勤める企業などに対して行ったアンケート内容の分析を進めます。また分析結果を参考に、講座配属制の改革を進めます。その一環として、「講座間学生情報共有システム」の見直しを進めます。	在学生、卒業生及び企業等に実施したアンケートのより深い分析と今後のカリキュラムへの反映方法について、検討に着手しました。また、講座配属制の改革として「講座間学生共有システム」（学生カルテシステム）の見直しに取り組むとともに、新たに「授業情報共有システム」の試用を開始しました。これにより教員間で学生指導及び授業内容等の共有化を図ることができました。	A	B	取組がアンケートの分析に留まり、具体的な検討や、それを参考とした対応策の実施に着手できなかったことは、「計画どおり進んでいる」（A：「計画を達成した」）とは認められないため。（B：「おおむね計画どおり進んでいる」（8割以上～10割未満））
○教育、研究、地域貢献等の実績に対する客観的な評価の基準を定めます。	継続して教員業績評価を行いながら、教員人事制度改革の検討と連動して、平成21年度以降の教員業績評価に向け、評価基準等を見直します。	人事制度改革本部に「評価制度検討チーム」を設置し、評価を処遇に反映させる仕組み等について検討を進めています。なお、現行の教員業績評価については、前年度の評価結果に基づく学部長等の意見を踏まえ、平成21年度は評価スケジュール等を見直したうえで実施することとしています。	A	B	検討をすすめて、各種課題を認識してはいるものの、計画に掲げる評価基準の見直し段階まで取組が進めなかったことは、「計画どおり進んでいる」（A：計画を達成した）とは認められないため。（B：「おおむね計画どおり進んでいる」（8割以上～10割未満））

※カリキュラム:教科目やその内容および時間配当など、学校の教育計画